

臨時特別号

山代小学校 PTA 会長
松田 小百合

失敗ってなんだろう



いよいよ分科会が来月に迫ってきました！みなさんから回答いただいた貴重なアンケート結果を読ませていただき、いろんな思いを感じることができました。本当にありがとうございました。

前号でもお伝えしましたが、質問の中で「お子様が社会で生きていく上で、どんな大人になってほしいですか」の結果で一番回答が多かったものが「失敗しても立ち直れる」でした。これについて少し考えてみました。

まず失敗って何なのか。みなさんはどう思いますか？試合で勝てなかった、テストで良い点が得られなかったなど様々なことが思い浮かぶと思います。正直失敗はあまりいいイメージはないと思います。しかし失敗がないと成長ありません。ではどうしたら失敗しても大丈夫！って子供たちが立ち直れるようになれるでしょうか。これは保護者のみなさまそれぞれの考えや思いがあるかと思っています。

加賀市の教育ビジョンに次のような文章があります。“旧来型の画一的な教育は、均質な人材育成に寄与し、高度経済成長に大きく貢献した一方で、同調圧力を生みやすく、人との違いが目立ち、失敗することを嫌い、クリエイティブな発想や個性が発揮しづらい環境を生み出したことも事実です。これからは、「人と違うこと」が強みになる時代になります。子どもは「一人ひとりみんな違う」ということを教育しています。”その意味を感じながら現在の授業を見ていると、おもしろい場面がたくさんありました。

まず授業開始の段階で「めあて」を共有します。問題提起があり、各々回答に向かいます。その回答に導くまで、様々な選択肢があります。同じように分からない子がいる、分かる子が助けてくれる。分かる子が分からない子がなぜ、どこが分からないか一緒に考える。これはよく分からないけど、みんなより分かる授業もある。様々なことに気付ける環境がありました。

失敗は学びです。失敗もあるけど、自分だけじゃない。自分にはこの力があるからきっと大丈夫、きっとできる方法があるって思える力があればきっと失敗しても立ち直れる、失敗を失敗と思わず自分の活力に変える事ができる子供たちが増えていくかもしれませんね。そしてもちろん、私たち保護者も失敗を恐れずチャレンジする姿を子供たちに見せていくこともいい影響を与えるのではないかと考えています。私は今回の研究発表も一つのチャレンジです！一緒にドキドキワクワクすることを見つけましょう。

